

# 2024年度環境経営レポート

運用期間:2024年5月~2025年4月



2025年5月1日発行

株式会社ヴィジット

## 目次

1 組織の概要	3P
2 対象範囲	4P
3 環境経営方針	4P
4 環境経営目標	5P
5 環境活動計画と実施した取組内容	6P
6 環境経営目標の実績	7P
7 環境活動計画の取組結果とその評価、及び次年度計画	8P
8 環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反訴訟等の有無	9P
9 代表者による全体評価と見直しの結果	9P
10 情報公開項目	10P

# 1:組織の概要

## (1) 事業場及び代表者氏名

事業場名 :株式会社ヴィジット

代表者名 :代表取締役 瀬戸 鐵雄

## (2) 設立年月日

平成 20 年 5 月 30 日

## (3) 所在地

〒329-2732 栃木県那須塩原市一区町 317-65

## (4) 環境管理責任者氏名

取締役 所長 :渡部正彦 連絡先 :0287-46-6247 E-mail:[clean@sweeper-visit.co.jp](mailto:clean@sweeper-visit.co.jp)

## (5) 事業活動

産業廃棄物収集運搬、グリーストラップ清掃、排水管高圧洗浄、一般清掃

## (6) 事業活動の概要

### ①産業廃棄物収集運搬事業

産業廃棄物収集運搬 汚泥吸引 グリーストラップ吸引洗浄 ピット清掃 側溝清掃 設置・修理

### ②高圧洗浄事業

排水管高圧洗浄 管内カメラ調査 排水トラブル全般 外壁高圧洗浄

### ③給水管洗浄事業

JAB 工法給水給湯管洗浄(水道管)

### ④一般清掃

ハウスクリーニング 床洗浄 WAX 厨房清掃 エアコン分解清掃 ダクト清掃

## (7) 事業規模 (2024 年5月~2025年4月)

資本金:1,000 万円 2024 年度売上高:13,466 万円

従業員数:11名 車両台数:14台 敷地面積:2,996.25 m<sup>2</sup>

## (8) 組織図:環境経営システム運営体制



## 2:対象範囲

対象範囲は、全組織・全事業活動です。

### 【対象事業所】

本社：栃木県那須塩原市一区町 317 番地 65

## 3:環境経営方針

### 環境経営方針

株式会社ヴィジットは、グリーストラップ清掃、排水管高圧洗浄、水道管洗浄、産業廃棄物収集運搬等の高度な専門技術を取得し、きめ細かいサービスによって地域社会に愛され、信頼され、地域社会に貢献すると共に環境保全の一翼を担って参ります。

#### 【基本方針】

- 1 事業領域全般において、省資源、省エネルギー、環境事故の防止、ムダを排除した活動に取り組めます。
- 2 事業活動に適用される環境関連法規を遵守します。
- 3 利害関係者との有益な環境影響の推進、及び当社事業における環境負荷を改善する取り組みを継続的に実施します。
- 4 本方針を全社員に周知し、全社一丸となって取り組めます。

#### 【重点取組事項】

- 1 作業車両のエコドライブと、作業効率向上の取り組みによる二酸化炭素量削減。
- 2 水使用量削減。
- 3 作業技術、エコドライブ教育の推進。
- 4 利害関係者と協力した環境保全活動への取り組み。
- 5 廃棄物の削減

2021年1月21日  
株式会社ヴィジット  
代表取締役 瀬戸鐵雄

## 4:環境経営目標

対象項目	単位		基準年度:2020年度 2019年11月~2020年 10月(実績)	目標(年度:5月~4月)			
				2024年度 基準対比▼4%	2025年度 基準対比▼5%	2026年度 基準対比▼6%	
二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量	kg-CO2	総量	55,612	53,388	52,831	52,275
		kg-CO2/売上高	原単位	6.68	6.41	6.34	6.28
	電力使用量 (従量電灯C)	kwh	総量	9,318	8,945	8,852	8,759
		kwh-CO2/売上高	原単位	1.12	1.07	1.06	1.05
	電力使用量 (低圧電力)	kwh	総量	3,384	3,249	3,215	3,181
		kwh-CO2/売上高	原単位	0.41	0.39	0.39	0.38
	電力使用量 (合計)	kwh	総量	12,702	12,194	12,067	11,940
		kwh-CO2/売上高	原単位	1.52	1.46	1.45	1.43
	軽油使用量	L	総量	15,954	15,316	15,156	14,997
		L-CO2/売上高	原単位	1.92	1.84	1.82	1.80
	ガソリン使用量	L	総量	3,814	3,661	3,623	3,585
		L-CO2/売上高	原単位	0.46	0.44	0.43	0.43
水使用量	m3	総量	376	361	357	353	
	m3/売上高	原単位	0.045	0.043	0.043	0.042	
一般廃棄物排出量			基準年度:2021年度 2021年5月~2022年 4月(実績)	基準対比▼3%	基準対比▼4%	基準対比▼5%	
	kg	総量	1,129	1,095	1,084	1,073	
廃棄物収集運搬における環境配慮と安全運転	作業技術と安全運転の教育件数	件数	2	2	2	2	

※2020年度売上高(万円): 8,330 万円

\*電力の排出係数:2021年公表の東京電力の排出係数 0.441kg-CO2

\*化学物質使用量の削減は、化学物質購入量が少量である為、薬品購入一覧表の作成と化学物質のSDSの入手管理を行う。

## 5:環境活動計画と実施した取組内容

活動期間 2024年5月1日～2025年4月30日

目標	活動項目	具体的な取組内容	判定
CO2排出量の削減	購入電力の削減	不要時間の照明消灯を徹底する	
		冷暖房(室温設定)冬季20℃夏季28℃	
		冷暖房の消し忘れ防止	
		サーキュレーターによる空調利用	
		洗車機使用の時間の短縮・拭き上げ対応	
	ガソリン・軽油使用量の削減	エコドライブの徹底	
		走行ルートを見直し最適化する	
		忘れ物などで不要な走行をしない	
		空気圧のチェック	
		定期点検	
廃棄物の削減	一般廃棄物の削減	事務系廃棄物の分別・リサイクル化に取り組む	
		コピー用紙の裏面利用	
		紙ベースの書類の電子化に取り組む	
水使用量の削減	節水の教育	余り水の再利用化	
		洗車時間の短縮	
		車両状況により拭き上げで対応する	
科学物質使用量の削減	PRTR対象化学物質使用量の削減	薬剤の月次の棚卸を徹底する	
		日々の薬剤使用量を管理し作業に適切な量を把握する	
廃棄物の収集運搬	廃棄物収集運搬業の教育	廃棄物の飛散・漏出の防止	
		作業車両の輪留めの徹底	
		作業車両の法定点検と日常点検の実施	
環境に優しい活動	廃棄物収集運搬における環境配慮	作業技術の向上	
		安全運転の励行	
	社会貢献活動	近隣のゴミ拾い	
	利害関係者との環境活動	FSC認定のコピー用紙の購入	

## 6:環境経営目標の実績

2024年度の目標に対する実績(2024年5月～2025年4月)は以下の通りである。

対象項目	単位		基準年度:2020年度 2019年11月～2020 年10月(実績)	目標 (5月～4月)	実績 (5月～4月)	目標との差異	評価	
				2024年度 基準対比▼4%				
二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量	kg-CO2	総量	55,612	53,388	68,143	14,755	△
		kg-CO2/売上高	原単位	6.68	6.41	5.06	(1.35)	○
	電力使用量 (従量電灯C)	kwh	総量	9,318	8,945	8,966	21	○
		kwh-CO2/売上高	原単位	1.12	1.07	0.67	(0.41)	○
	電力使用量 (低圧電力)	kwh	総量	3,384	3,249	3,469	220	△
		kwh-CO2/売上高	原単位	0.41	0.39	0.26	(0.13)	○
	電力使用量 (合計)	kwh	総量	12,702	12,194	12,435	241	△
		kwh-CO2/売上高	原単位	1.52	1.46	0.92	(0.54)	○
	軽油使用量	L	総量	15,954	15,316	21,649	6,333	×
		L-CO2/売上高	原単位	1.92	1.84	1.61	(0.23)	○
ガソリン使用量	L	総量	3,814	3,661	2,933	-728	○	
	L-CO2/売上高	原単位	0.46	0.44	0.22	(0.22)	○	
水使用量	m3	総量	376	361	488	127	×	
	m3/売上高	原単位	0.045	0.043	0.036	(0.007)	○	
一般廃棄物排出量	kg	総量	基準年度:2021年度	基準対比▼3%				
			1,129	1,095	962	-133	○	
廃棄物収集運搬における環境配慮と安全運転	作業技術と安全運転の教育件数	件数	2	2	2	2	○	

※2020年度売上高(万円): 8,330 万円

※2024年度の売上高(万円): 13,466 万円

\*電力の排出係数:平成24年度公表の東京電力の排出係数 0.441kg-CO2

\*化学物質使用量の削減は、化学物質購入量が少量である為、薬品購入一覧表の作成と化学物質のSDSの入手管理を行う。

\*目標の達成度の評価基準:○ 100%以上達成、△ 80～100%、× 80%以下

## 7:環境活動計画の取組結果とその評価、及び次年度計画

活動期間 2024年5月1日～2025年4月30日

活動項目	取組結果 (2024年5月1日～2025年4月30日)	判定	評価	次年度の具体的な取組内容 (2025年5月1日～2026年4月30日)
購入電力の削減	不要時間の照明消灯の徹底はできている	◎	継続して取り組む	不要時間の照明消灯を徹底する
	冷暖房の消し忘れ防止は徹底できている	◎	継続して取り組む	冷暖房の消し忘れ防止
	サーキュレーターによる空調利用は概ねできている	◎	継続して取り組む	サーキュレーターによる空調利用
	冷房使用時の設定を28℃以下にすることが頻発した	△	体調面を考慮しつつ継続して取り組む	冷暖房 冬季20℃夏季28℃の徹底
	洗車時間の短縮のはできているが運搬数の増加に伴い洗車の回数が増えてしまった	△	車両の状況に応じて引き続き削減に取り組む	洗車機使用の時間の短縮・拭き上げ対応
ガソリン・軽油使用量の削減	加速・減速の少ない運転を推進し浸透してきている	◎	定期的に見直しをおこない更に改善に努める	エコドライブの徹底
	走行ルートを見直し最適化は概ねできている	○		走行ルートを見直し最適化する
	忘れ物による不要な走行は減少している	○		忘れ物などで不要な走行をしない
	毎月15日・末日に空気圧のチェックを行っている	◎	継続して取り組む	空気圧のチェック 定期点検
一般廃棄物の削減	事務系廃棄物の分別・計量	◎	継続して取り組む	事業系廃棄物の分別・リサイクルに取り組む
	コピー用紙の裏面利用	◎	継続して取り組む	コピー用紙の裏面利用
	作業完了報告のメールへの移行は増加している	◎	継続して取り組む	紙ベースの書類の電子化に取り組む
節水の教育	給水車や高圧洗浄車両の使用が増加したため水使用量も増えてしまったが余り水は有効に再利用できている	○	継続して取り組む	余り水の再利用化
	洗車時間の短縮のはできているが運搬数の増加に伴い洗車の回数が増えてしまった	△	車両の状況に応じて引き続き削減に取り組む	洗車時間の短縮 車両状況により拭き上げで対応する
科学物質使用量の削減	薬剤の取り扱いと保管場所の徹底は概ねできている	◎	継続して取り組む	薬剤の月次の棚卸を徹底する
	薬剤は汚れに応じて最小の使用量を心がけている	◎	継続して取り組む	日々の薬剤使用量を管理し作業に適切な量を把握する
廃棄物収集運搬業の教育	廃棄物の飛散・漏出の防止の講習会実施(4月23日)	◎	継続して取り組む	廃棄物の飛散・漏出の防止
	作業車両の輪留めは徹底されている	◎	継続して取り組む	作業車両の輪留めの徹底
	作業車両の法定点検と日常点検の実施はできている	◎	継続して取り組む	作業車両の法定点検と日常点検の実施
廃棄物収集運搬における環境配慮	機械操作の見直しを随時おこなった	◎	継続して取り組む	作業技術の向上
	安全運転の励行ができています	◎	継続して取り組む	安全運転の励行
社会貢献活動	近隣のゴミ拾いを実施(7月26日)	◎	継続して取り組む	近隣のゴミ拾い
利害関係者との環境活動	FSC認定のコピー用紙の購入	◎	継続して取り組む	FSC認証のコピー用紙の購入

## 8:環境関連法規等の遵守の状況確認及び表家の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規等の遵守において遵守状況を当社が確認した結果、違反はありません。

また関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。また訴訟等も同様に一件もありません。

主な法令の名称	要求事項	遵守結果
産業廃棄物処理法	産業廃棄物の管理	OK
道路交通法	安全運転管理者の届出	OK
浄化槽法	浄化槽の保守点検及び清掃報告書	OK

## 9:代表者による全体評価の見直し・指示

- (1) 環境方針、環境目標、環境活動計画は、システムの主要部分について、現行の規定を順守する。
- (2) 本年度はすべての取り組みにおいて原単位での削減目標は達成したものの、昨年同様エネルギー使用量は増加傾向にある。  
ルートの最適化など活動計画を見直し、目標達成できるよう取り組むこと。
- (3) 作業技術講習の実施により一人一人の作業技術と知識を高め、作業効率の向上に努めること。
- (4) 産廃事故、車両事故の防止は、継続して訓練を行い徹底すること。

## 10:情報開示項目

### (1) 産業廃棄物収集運搬実績

	単位	2020年度 (2019年11月~2020年10月)	2024年度 (2024年5月~2025年4月)
産業廃棄物収集運搬売上高	万円	8,330	13,466
産業廃棄物収集運搬量	トン	583.50	984.22

### (2) 保有車両台数

産業廃棄物運搬車両	台数	その他車両	台数
強力吸引車(10t)	1台	高圧洗浄車(2t)	3台
強力吸引車(4t)	2台	高圧洗浄車(1、5t)	1台
強力吸引車(2t)	1台	営業車ワゴン(軽自動車)	3台
バキューム車(2t)	1台		
平トラック(2t)	2台		
合 計		14台	

### (3) 産業廃棄物収集運搬許可

県名 許可番号	許可年月日 許可の有効期限	積 替 え 保 管	取り扱う産業廃棄物の種類												
			汚 泥	廃 油	廃 酸	廃 アルカリ	廃 プラスチック類	紙 く ず	木 く ず	織 維 く ず	動 植 物 性 残 さ	ゴ ム く ず	金 属 く ず	く す リ ー ト く す 及 び 陶 磁 器	が れ き 類
栃木県 00900153573	令和7年3月18日 令和12年3月17日	無	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
福島県 00707153573	令和7年3月19日 令和12年3月18日	無	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
茨城県 00801153573	令和4年9月8日 令和9年5月10日	無	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
群馬県 01000153573	令和6年6月5日 令和11年6月4日	無	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
埼玉県 01100153573	令和4年6月20日 令和9年5月7日	無	●	●			●	●	●	●					

### (4) 建築物排水管清掃業

登録番号	有効期限
栃木県 26年 北保排第187-1号	令和8年5月8日